# えすぽわーる

11
2015
No.159
— SHINHAKODATE —

えすぽわーる新函館はJA新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌です

JA新はこだて
http://www.ja-shinhakodate.jp/

# 道南をたがや農す

# 陽（ひ）の光を目いっぱいに浴びて紫紺に染まった太陽の果実

農す ― 生きる力を体現した容姿、自然本来の鮮やかな彩り、四季折々で地域の景観であり続ける「農産物」と、それを生み出す「農業者」たちをシリーズで紹介していく。

## 【農産物】プルーン

森町姫川
宮本　秀逸さん（66）
貞子さん（66）

①実に栄養を集めるために、余分な枝を剪定。作業は雪も解けないうちから始まる。　②スピードスプレーヤを走らせ、しっかりと防除する。水しぶきが陽の光を浴びて輝いている。　③鈴なりになった果実をひとつひとつ丁寧に収穫。大変な数があるので、重労働だ。　④傷やしわがないかしっかりと選別する。出荷できないプルーンを活用した、自家製のジャムも人気。

「ここからの眺めは、秀峰・駒ヶ岳を独り占めしたような最高の景色」と宮本さん。

桜や梅、桃などの学名は、はじめの「Ｐｒｕｎｕｓ（プラナス）」が共通している。これはプルーンに由来する名前だ。とても近縁な種類で、その代表がプルーンという訳だ。その証拠に、実や種の形が似ている気がしないだろうか？　春、一面に白い花を咲かせるのも桜を思わせる。

そんなプルーンを道内で最初に始めたのは、実は森町だ。補助事業を機に、当時の普及所のすすめで栽培をスタート。以来、姫川や白川などで13軒ほどの農家が続けている。

今回取材にお邪魔した宮本さんも、プルーン農家のひとり。生まれは火の国熊本。20代で森に渡り、裸一貫で原野から果樹園を拓いた。今ではプルーン4反のほか、馬鈴薯・カボチャ・小豆などを作付している。

森の魅力は、駒ヶ岳から噴出した「火山灰の土壌」と話す。「全国を歩いてきたけど、ここのような白い火山灰土壌は他にない。水はけと水持ちの両方が良いので、雨にも乾燥にも強い。作物を育てるのに最高の土」と惚れこんでいる。

一方で病害虫には神経を使っていて、毎年5～6回ほど念入りに消毒する。さらに、収穫直前の雨や風も大敵だ。水分を吸いすぎて裂果したり、風で落果したりする。今年も10月はじめの強風で、収穫が始まったばかりのタイミングでもあり、実が落ちてしまわないか心配された。それでも、「春から夏まで天候が良かったので、普段の年以上にたくさん収穫できている」と、貞子さんは笑顔を見せる。

プルーン部会長をはじめ、町議会議員、町農業委員会の役職を務める宮本さん。福祉施設への協力や空き缶のプルタブ集めもライフワークにしている。地域のため、社会のために奔走する毎日だ。



# えすぽわーる

NO.159／2015年11月号

CONTENTS


② 道南を農す
④ 特集 収穫の秋を祝って 収穫祭が盛況
⑥ 協同の力
⑦ 新婚さんハッピートーク ～ゴール＆スタート～
⑧ トピックス 函館大妻高校生が稲刈り・脱穀体験 他
⑩ Focus the JOB ～JAの仕事を紹介します～
⑪ あぐりレッスン
⑯ 地産地食図鑑

道の駅「遊・ＹＯＵ・森」にあるこの看板。森町で盛んに生産されている農産物が、駒ヶ岳を背にした５人の戦隊ヒーローとして描かれています。『新しいものに挑む』『食を守る』と、意気込みも力強いです。

# 特集 収穫の秋を祝って 収穫祭が盛況

今年は春から夏にかけて好天に恵まれ、農産物は順調に推移しています。米についても、収量は平年並みにとどまるものの、製品率は良好で品質の良いものがとれています。
１年間の営農の無事を祝って、管内各地で収穫祭が行われました。今回の特集ではその様子をご紹介します。

▲新米のふっくりんこ目当てに行列ができた米すくい

▲おらいもくん親子は子供たちに大人気！

▲アツアツで馬鈴薯の団子が具だくさんの農協大なべ

▲あいさつする下川部実行委員長（左）と輪島専務（右）

## 第4回 農協まつり大収穫祭 ～ 厚沢部町

１０月３日、厚沢部支店は支店前駐車場で「農協まつり大収穫祭」を開きました。今年で４回目を迎え、地域に根付いたイベントになっています。風が強く肌寒い中での開催でしたが、たくさんの方に来ていただきました。

会場では、女性部・青年部・生産組織の皆さんに全面協力をいただいて屋台を出店。農作物の直売をはじめ、焼き鳥やおでん、おにぎりなどを格安で提供しました。子供向けには輪投げやヨーヨー釣り、スーパーボールすくいの屋台を設置。お祭りらしい素朴な遊びに熱中していました。また、地域の方による鮎の塩焼きの屋台など珍しい店も目を引いていました。

ステージイベントでは、子供たちの踊りや中高生の吹奏楽演奏、『館櫻娘☆おらいもファイバー』さんのショーなどが披露され、地域の若い力に客席は大いに沸きました。歌謡ショーでは観客が曲にあわせて踊るなど、地域イベントならではの距離の近いステージになりました。

この他、ＪＡならではのお得な企画も多数行われ、行列ができる人気ぶりでした。厚沢部特産のメークインの塩煮や農協大なべが無料で振る舞われたほか、ふっくりんこの米すくいやメークインの詰め放題では長い行列ができました。

フィナーレでは、子供たち向けにお菓子まきを実施。目を輝かせながら、宙を舞うお菓子を追いかけていました。さらに、農産物や日用品などが当たる景品付きもちまきが盛大に行われ、来場客は先を競って手をのばしました。

## 大野支店収穫感謝祭 ～ 北斗市

▲大人気の「ふっくりホッキめし焼いちゃいました」

▲子供たちとゲームを楽しむずーしーほっきーとお米マン

▲若手農家も笑顔で消費者と交流

１０月１７～１８日、「北斗オータムマルシェ 2015」が開かれ、「大野支店収穫感謝祭」を同時開催しました。秋の味覚を求めて大勢の方が来場しました。

ＪＡは新鮮な農産物やお米、料理を販売。「農協らーめん」や「農協カレー」は軒並み完売の人気で、中でもホッキご飯を油揚げで包む「ふっくりホッキめし焼いちゃいました」には長い列ができました。北斗４Ｈクラブも出店し、なま落花生やフライド南瓜などを販売しました。

また、ずーしーほっきーとお米マンが会場に出没。子供たちの人気を集めていました。抽選会や餅まきも行われ、大賑わいの２日間でした。

各地のイベントに参加しました！

## 食と産業まつり2015

せたな町

女性部は豚汁やおしるこ、ふっくりんこのおにぎりを格安で用意。ＪＡは若松ポークマンのソテーやフランクフルト、新米を提供しました。

## 第34回 産業まつり

上ノ国町

山海の味覚が集まる、毎年恒例のイベントです。町の農業者青年グループは新米の「ふっくりんこ」「きたくりん」を特価で販売。すぐに完売する人気でした。

## 食べる・たいせつフェスティバル2015 in 函館 ～ 函館市

消費者に「食」を体感してもらうこのイベント。ご近所野菜グループは豚汁や鮭鍋、カレーを無料提供。新鮮な野菜も格安で販売しました。また、米穀課とホクレンは新米の食べ比べを実施。三浦米穀課長によるお米についての講演も開かれ、ブースが満席となる盛況でした。

# 協同の力

1人ひとりの力を合わせ、大きな力に。〝協同の力〟で地域農業をけん引する組織を紹介していく。

## 魅力を伝え、新たな仲間づくりを

### 若松ブロッコリー部会　設立2012年、部会員13人

**●ブロッコリー生産や組織設立の経過についてお聞かせください。**

**本多部会長**　ブロッコリー生産が始まったきっかけは、水田の転作です。転作田への作付は、交付金の高い大豆・そば・麦が中心でした。しかし、それだけでは輪作体系を構築できないので、野菜を導入することになりました。ブロッコリーが選ばれたのは、収穫後の残渣を土にすき込むことで地力増進になることや、高収益作物であることなど、多くのメリットがあるからです。

組織としては、すでに今金・北檜山農協と一緒の広域の部会がありました。しかし、気心の知れた生産者とより良い物を作っていこうと思い、新たに若松の部会を設立しました。広域ではきめ細かな情報伝達ができないので、そういった面では設立して良かったと思っています。

**●栽培技術向上のために、どのようなことに取り組んでいますか？**

**本多部会長**　広域の部会で勉強会を開き、その内容を周知徹底しています。生産者同士での、肥培管理や病害虫防除などの情報共有も大切にしています。「若松のブロッコリーはこういうものを作る」とプライドを持ちながら生産に取組むことが、部会も長続きし仲間を増やすキッカケにもなると思っています。

**馬場副部会長**　生産者同士で情報交換して、技術向上を図っています。会議の場だけでなく、生産者同士で顔を合わせた時にもこまめにやり取りしています。

また、出荷の際には、他の生産者の品物を確認します。出荷できずに返却されたものを見て、どういうものがダメなのかを確認する事もあります。このように、生産者同士で学び合いながら品質向上に努めています。

**●今後の課題や目標は何ですか？**

**馬場副部会長**　新たな生産者を増やすことが課題です。自分自身も今まで作付しなかったことを後悔しているくらい、高収益が見込める作物です。さらに、他の露地野菜と比べると年間通して価格も安定しているので、経営の中で計算しやすいと思います。苗の移植機を部会で所有しているので、初期投資も少なくて済みます。また、体への負担も少ないです。

これからもブロッコリーの魅力をPRして、新たな生産者を増やしていきたいです。

**本多部会長**　夏場の製品率が下がってしまうことが一番の課題です。製品率を維持するための技術が、十分ではありません。

若松地区はブロッコリー栽培に適した気候だと思います。なので、肥培や防除の技術向上、初夏と秋の取りこぼしの減少ができれば、目標としている1反4000玉も可能だと思います。今後は目標を達成し、生産者増にも繋げていきたいと思います。

〈取材　若松支店　鳥倉　健太〉

# 新婚さん！ハッピートーク ゴール&スタート vol.8

結婚というゴールを迎え、新たな人生をスタートさせた二人の出会いから交際、結婚にいたるまでの経過を紹介していく

七飯町　軍川
山崎　　健さん（33歳）
智佳さん（33歳）

【写真上】ハーブの収穫作業をする健さん
【写真左】健さん、智佳さん、１ヶ月の翔琉（かける）くんと収穫中のハウス内で「子供は３人くらい欲しいです」と語る２人。

## 仲の良い友人から交際に発展

**●二人の出会い…**

山崎 健（けん）さんと智佳（ちか）さんはおととしの２月７日に入籍した。

２人は保育所から中学校まで、同じ学年で一緒に育った。その後は別々の高校に進学し、智佳さんは就職で旭川へと、それぞれの道を歩んだ。それでも智佳さんが帰省したときには２人で食事をするなど、友達として交流は続いていた。

学生時代はお互い意識することもなかった２人。だが、社会人になってから会う回数が増える中で、健さんが智佳さんを意識するように。やがて健さんから告白し、交際がスタートした。

**●交際期間中…**

２年間の交際期間中、函館西部地区で開かれたバル街に参加したことが思い出深い。「めったにお酒を飲まない智佳さんが酔っ払っていたのが印象的だった」と健さん。

健さんが結婚を意識したのは、智佳さんが一人暮らしをしているアパートを訪ねたとき。部屋は綺麗にされていて、料理も作ってくれた。その時に「お嫁さんになって欲しいと思った」という。

そして３年前のクリスマスイブに、健さんからプロポーズした。その時の気持ちを智佳さんは「サプライズでビックリしたけど、とても嬉しかった。農家としての生活が想像つかなくて不安もあったけど、２人で協力すれば大丈夫だと思った」と振り返る。

**●これから…**

現在、ハーブ栽培・養蜂をしている健さん。「ハーブを増やして、蜂蜜をたくさん作っていきたい」さらに「色んな人に農園のハーブの花も見に来てもらいたい」と目標を語る。

結婚して良かったことは？と訊くと、「お互いを支えあい、２人で幸せを分かち合えること」と笑顔で答えてくれた。

〈取材　七飯支店　浅野　友美子〉

## 小学生向けに野菜収穫体験を開催
### 女性農業者が「親子で野菜収穫体験」

◀食育に関する○×クイズを楽しむ

八雲・長万部町の女性農業者が参画する「女性のための農業セミナー」は１０月３日、八雲町で「親子で野菜収穫体験」を初めて開き、小学生親子６組１７名が参加した。食の大切さや農のありがたさについて理解を深めてもらうのが目的。

はじめに、小武方農園でピーマンやナスなどの野菜を収穫。昼食では収穫したばかりの野菜を使ってカレーとサラダを調理した。食後には「食育」にまつわる○×クイズや食育カルタを楽しんだ。

母娘で参加した女性は「収穫から料理まで一連の作業を親子で体験できたことが貴重で参加してよかった」と笑顔で話した。

## お米の魅力を肌で感じて
### 大妻高生が稲刈り・脱穀体験

◀鎌を使って次々と稲穂を刈り取る生徒

函館大妻高校食物健康科の１年生３７名は１０月６日、北斗市内の水田で稲刈り体験を行った。地元の農産物の魅力を感じてもらうことが目的。

収穫したのは、生徒が６月に植えた「ふっくりんこ」。鎌の使い方などの説明を受け、米穀課の指導のもと稲刈りをスタート。慣れない作業ながらも楽しく取り組んでいた。その後は渡島農業改良普及センターに移動し、稲架掛けの作業を体験した。

生徒は「この稲がおいしいお米になると思ってがんばった」と笑顔を見せた。

２０日には脱穀・精米も体験。今後、できたお米を使った創作料理発表会を予定している。

## 檜山の小麦について知って
### 檜山北高で農家が出前授業

◀小麦を手に取って説明する誠さん

檜山北高校で９月３０日、若松地区で小麦を作付する農家の山口誠さん・由季さん夫妻が出前授業を開いた。檜山振興局による「活躍する農業女性による農業農村魅力発見推進事業」の一環で、女性農業者から農村の魅力を発信することが狙い。

誠さんは小麦の栽培から出荷までの流れ、製粉の方法、道南での生産事情などについて講義した。

由季さんは自家産の小麦粉を使ったマフィンづくりを指導。「若松ポークマン」のフランクフルトや瀬棚地区で生産されたチーズなどを具材に加え、４種類のマフィンを作った。生徒たちは仲間と協力しながら調理を楽しんでいた。

## しいたけの魅力を子供たちに
### 知内生産組合が菌床を贈る

◀菌床を受け取る児童たち

知内町しいたけ生産組合は１０月２日、同町と木古内町内の保育園と小学校９ヶ所に合計１２０個のしいたけの菌床を贈った。栽培を通じて子供たちにしいたけに関心を持ってもらうことを目的に、４年前から行われている。

知内小学校では、１・２年生の児童６０名に４０個の菌床を寄贈し、校舎玄関わきに菌床を並べた。順調にいけば、１１月までに３回収穫できるという。

同生産組合の堂守正彦組合長は「嫌いな食べ物に挙がることのあるしいたけだが、自分の手で育てることで好きになる子も多いと聞いている」と期待を話した。

## 法人化について自ら考える場に
### 青年部が役員研修会

◀丁寧に説明する高瀬副会長（左）

青年部は１０月１３日、道南農業会館で役員研修会を初めて開き、役員１２名が参加した。地区リーダーとしての資質を高め、青年部活動や地域農業づくりに反映させることが目的。

部員の関心が高い「法人化」に焦点を当て、農業生産法人ネットワークの髙瀬幸巳副会長を講師に招いた。自身が法人化に至った経緯や、法人化の利点・課題点について講義。その後の意見交換では、部員から雇用面などについて活発に質問が発せられた。

青年部の髙橋陽一部長は「難しい内容なので戸惑う部分もあった。こういう機会を重ね、法人化が今後の経営に合うのか考えて行きたい」と述べた。

## 視察やタイルクラフト作りで交流
### 道南地区フレッシュミズ研修会

◀タイルクラフト作りを楽しむ女性たち

ＪＡ道南地区女性協議会は１０月８日、せたな町でフレッシュミズ研修会を開いた。管内から約３０名の若手女性農業者が参加し、主張発表や農場視察、手芸を楽しみ、交流を深めた。

主張発表では、瀬棚支店女性部フレッシュミズの弥左麻衣子さんが牛の淘汰と向き合う辛さなどとからめ、酪農家としての決意を発表した。発表後は村上牧場とワタミファームの２ヶ所を視察し、締めにタイルクラフト作りに挑戦した。

七飯町の杉村恵美さんは「なべ敷きが上手にできた。研修に出してくれた義母に感謝を込め、プレゼントしたい」と笑顔で話した。

## 特産の花を使って花育活動を
### 小学生がフラワーアレンジメント体験

◀青年部員のサポートを受けて熱心に取り組む児童

花卉生産出荷組合青年部は１０月２２日、七飯町の藤城小学校でフラワーアレンジメント作りを開いた。地域で生産の盛んな花卉を活用し、教育や地域活動に取りいれる「花育活動」の一環。毎年行っている取り組みで、今年で５回目となる。

この日は３・４年生の児童３８名が、カーネーションでプードルをかたどったアレンジメントに挑戦。カスミソウや小菊なども使い、華やかな作品に仕上がった。児童らは思い思いに工夫を凝らしながら、熱心に作業に取り組んでいた。

男子児童は「フラワーアレンジメントは今日が初めて。楽しかった」と満足げな表情を見せていた。

## お客さまに今年の感謝を込めて
### 函館女性部が湯川朝市で抽選会

◀たくさんの買い物客で賑わった抽選会

函館支店倉庫前で１０月２４日、函館支店女性部による産直市「湯川朝市」が、今年度の最終営業を迎えた。日頃の感謝をこめた抽選会も行われ、市内外から訪れた多くの買い物客で賑わった。

この日は白菜や大根、南瓜など３０種類以上の品目を販売し、ふかした南瓜やスープを無料提供した。また、今年１５回以上買い物した方は抽選会に挑戦。ふっくりんこや野菜詰め合わせなどの景品１００本以上が用意され、参加者は抽選結果に一喜一憂した。

鮫川初江子部長は「抽選会で皆さまに楽しんで頂けて良かったです。おかげさまで今年も多くのお客様に支えられました」と話した。

# Focus the JOB ～JAの仕事を紹介します～

## 今回は八雲支店営農センター。

## 頼られる営農センターを目指して

農畜産物PRイベントの打ち合わせの様子

営農酪農課・営農畜産課がある基幹支店事務所

八雲支店営農センターは、営農酪農課・営農畜産課・生産施設課・生産資材課の4課から構成されています。当センターでは、生乳や肉牛などの畜産物をはじめ、もち米・軟白ネギなどの農産物、種子馬鈴薯・大豆・南瓜といった畑作物など、多様な品目を取り扱っています。

営農酪農課・営農畜産課では、担い手の育成や生産基盤の維持・拡大に向けた各種補助事業の推進及び事務、乳牛・肉牛の個体販売業務を行っています。生産施設課では、倉庫などの施設運営や管理、生産組織の運営事務や農産物の集荷・販売の他、「風の子もち」をはじめとして各組織と連携したPR活動も行っています。

生産資材課では農業資材の各種取りまとめや推進を行っており、取りまとめ率向上に力を入れて取り組んでいます。

これからも、「挨拶・声かけ」を心がけ、組合員の皆様に頼られる営農センターを目指して頑張っていきます。


【連絡先】

| 営農酪農課・営農畜産課 | 生産資材課 | 生産施設課 |
|---|---|---|
| 二海郡八雲町末広町161 | 二海郡八雲町相生町92-3 | 二海郡八雲町落部28-1-1 |
| ＴＥＬ：0137-62-2121 | ＴＥＬ：0137-63-3366 | ＴＥＬ：0137-67-2111 |
| ＦＡＸ：0137-63-4324 | ＦＡＸ：0137-63-3367 | ＦＡＸ：0137-67-2114 |

# あぐりレッスン

檜山農業改良普及センター

## パイプハウスの雪害対策は万全に！

近年は、『極端気象(現象)』と呼ばれる長期間の降雨や降雪、或いは猛暑、低温による被害が目立ってきています。

道南地域においては、園芸作物が冬期間に多く栽培されており十分な雪害対策が必要です。

**雪害に遭った事例**

①隣のハウスとの設置間隔が狭い
②雪の滑りが悪くなった古いビニールの被覆
③物置代わり又は栽培していないハウス
④除雪能力を超えた被覆棟数
⑤局所的な吹きだまり等

**雪害対策**

①落雪しやすいように裾部分の除排雪を小まめに行う。
②冬期被覆のハウスは強度を十分に高めておき、無加温栽培で降雪が続く場合は、ポータブルストーブやジェットヒーター等を臨時に使用して落雪を促す。
③加温栽培ハウスは、可能な限り暖房機の設定温度を上げて落雪を促す。
④吹きだまりになりやすい場所は、防風網を設置し除排雪を小まめに行う。
⑤可能であれば除雪機の排雪場として緊急時に活用できる無被覆の棟を設ける。
⑥冬期間栽培しないハウスは被覆を剥がすのが基本であり、土壌の濃度障害軽減や均一な水分確保にも繋がる。

**大切な財産であるパイプハウスを雪害から守りましょう！**

## 土壌診断を活用しよう！

来年の作付けに向け、ほ場の土壌診断を上手に活用し、作物の収量性アップ、経済的な施肥につなげましょう。

化学性診断で多項目の土壌分析を行う場合、分析機関の検査結果が出るまでに多少時間がかかる場合があるので、検査依頼はお早めに。

### 土壌物理性の診断

土壌断面調査に基づいて診断します。

断面調査によって、根の広がり、下層土の性状、土壌硬度や耕盤形成の度合、地下水位等、たいへん多くの情報が得られます。

### 土壌化学性の診断

分析機関の土壌分析に基づいて診断します。

| 分析項目 | 分析値 | 基準値 |
|---|---|---|
| pH | 6.4 | 5.5~6.0 |
| EC | 0.12 | |
| 有効態リン酸 | 60.4 | |
| 交換性加里 | 57.0 | |
| 交換性苦土 | 61.2 | |
| 交換性石灰 | 271.6 | |
| 苦土･加里比 | 2.5 | |
| 石灰･苦土比 | 3.2 | |
| CEC(陽イオン交換容量) | | |
| リン酸吸収係数 | | |

作物によって、好適ｐＨや耐塩性（高ＥＣに耐える力）が異なります。**毎作、作付け前に必ず測定しましょう。**

作物が利用しやすい形で土壌中に含まれる養分の量です。
「○○･○○比」は、養分同士のバランスを示しています。
「過剰なのを知らずふつうに施肥したら障害が出た！」とか「肥料をふったのに○○がまだ足りなかった～」ということにならないよう、**年に１回または作付け毎に測定しましょう。**

あまりなじみがない項目かも知れませんが、正確な施肥設計を行う上でたいへん重要な「土壌の性質」です。
**数年に一度くらい分析し、把握しておくのがオススメです。**

シリーズ連載企画 第2回

# 農業が求める女性の力

これからの農業は、農作物を作るだけではなく、消費者ニーズに合わせた安全・安心な食の提供、６次産業化、農村の活性化など幅広い視野や見聞を持ち、経営していく必要があります。

そこで求められるのが、生産者と消費者の両方の感覚を持ち合わせる女性の力。今、農業経営への女性参画や女性の担い手農業者の力が大いに期待されています。えすぽわーるでは「農業が求める女性の力」と題して、シリーズで特集します。

第二弾は、“農業者団体における政策・方針決定過程への女性参画”について紹介します。

## 1. 国による女性関連施策の基本方針等

国は、食料・農業・農村基本法および男女共同参画社会基本法に基づき、女性の活躍および農山漁村における男女共同参画を推進しています。

### ●食料・農業・農村基本法（H11.7）

第 26 条　（女性の参画の促進）

国は、男女が社会の対等な構成員としてあらゆる活動に参画する機会を確保することが重要であることにかんがみ、女性の農業経営における役割を適正に評価するとともに、女性が自らの意思によって農業経営及びこれに関連する活動に参画する機会を確保するための環境整備を推進するものとする。

### ●男女共同参画基本計画（H22.12 閣議決定）

「社会のあらゆる分野において、２０２０年までに、指導的地位に女性が占める割合が少なくとも３０％程度になるよう期待する」活力ある農山漁村の実現に向けた男女共同参画の推進

1. 意識改革と政策・方針決定過程への女性の参画拡大
2. 女性の経済的地位の向上と就業条件・環境の整備
3. 女性が住みやすく活動しやすい環境づくり

### ●すべての女性が輝く政策パッケージ（H26.10 すべての女性が輝く社会づくり本部（注）決定）

○起業の機会を拡大するための環境整備　（一部抜粋）

……次世代リーダーとなり得る女性農業経営者の育成・ネットワークの強化や農業で新たなチャレンジを行う女性のビジネス発展のための研修等を実施する。

### ●食料・農業・農村基本方針計画（H27.3 閣議決定）

農業の持続的な発展に関する施策

（３）女性農業者が能力を最大限発揮できる環境整備（一部抜粋）

地域農業に関する方針等に女性農業者の声を反映させるため、人、農地プランを検討する場への女性農業者の参画を義務付けるとともに、女性農業者の農業協同組合の役員等への登用を推進する。

### ●女性活躍促進のための重点方針 2015（H27.6 すべての女性が輝く社会づくり本部（注）決定）

農業分野（一部抜粋）

①農業委員、農業協同組合の役員等に占める女性割合を増加させるため、国会で審議中の農協改革関連法案において、性別等に著しい偏りが生じないよう配慮する規定を置くなど女性の参画拡大に向けた取り組みを進める。

②略

※(注)すべての女性が輝く社会づくり本部 ……平成26年に設置され、本部長を内閣総理大臣、副部長を内閣官房長官、女性活躍担当大臣、本部員を全ての国務大臣として構成する組織。

## 2. 農業者団体などの役員等に占める女性の割合の推移（全国）

ＪＡ役員あるいは農業委員に占める女性の比率について見ると、増加傾向にはあるものの、農業委員で７．２％、ＪＡ役員で６．９％にとどまっています。そこでＪＡや農業委員などの農業者団体では、女性の登用目標を設定し、その達成に向けて取り組むとともに、地域の理解、気運の醸成に向けた啓発活動を実施しています。

◆正組合員・JA 役員数　　単位：人

| | H12年 | H17年 | H20年 | H26年 |
|---|---|---|---|---|
| 個人正組合員 | 5,240,785 | 4,988,029 | 4,816,570 | |
| **うち女性** | 746,719 | 804,583 | 872,402 | |
| 割合 | 14.2% | 16.1% | 18.1% | |
| JA役員 | 32,003 | 22,799 | 20,074 | 18,616 |
| **うち女性** | 187 | 438 | 605 | 1,277 |
| 割合 | 0.6% | 1.9% | 3.0% | 6.9% |

◆農業委員数　　単位：人

| | H12年 | H17年 | H20年 | H26年 |
|---|---|---|---|---|
| 農業委員 | 59,254 | 45,379 | 37,456 | 35,653 |
| **うち女性** | 1,081 | 1,869 | 1,741 | 2,572 |
| 割合 | 1.8% | 4.1% | 4.6% | 7.2% |

《参考資料》農林水産省「農業委員会及び都道府県農業会議実態調査」、「総合農協統計表」

注）農業委員数は10月1日現在、JA数は事業年度末現在の値

◆JA における女性役員の登用目標　　単位：JA 数、%

| 登用目標等 | 現状(平成26年度) |
|---|---|
| 女性のＪＡ運営参画目標を、正組合員数の２５％以上、総代の１０％以上、理事等は２名以上とし、ＪＡとしての目標を明らかにして取り組む(第２５・２６回ＪＡ全国大会決定) | ・全国ＪＡ数　699<br>・複数の女性役員在籍ＪＡ数　487<br>・割合　69.7% |

注）全国JA数の現状値はＪＡ全中調べ

## 3. 北海道のJAにおける女性農業者のJA運営参画に係る決議経過と背景

北海道における女性農業者のＪＡ運営参画推進に関しては、第２７回ＪＡ北海道大会（平成２４年１１月開催）の第２号議案『次代を担う協同の実践』の戦略目標「地域に即したＪＡ組織基盤強化対策の実践」の中で**“女性農業者のＪＡ経営への参画の促進”**が、決議されています。

◆北海道の JA における女性役員の登用目標　　単位：JA 数、%

| 登用目標等 | 現状(平成26年度) |
|---|---|
| 女性のＪＡ運営参画目標を、正組合員数の２５％以上、総代の１０％以上、理事等は2名以上とし、ＪＡとしての目標を明らかにして取り組む | ・全道ＪＡ数　108<br>・複数の女性役員在籍ＪＡ数　3<br>・割合　2.8 % |

◆道内における女性役員の複数名登用 JA 数

| | H24年 | H25年 | H26年 |
|---|---|---|---|
| 3名以上 | 1 | 1 | 1 |
| 2名以上 | 2 | 2 | 2 |
| 合　計 | 3 | 3 | 3 |

◆道内 JA における女性役員数

| | H24年 | H25年 | H26年 |
|---|---|---|---|
| 理　事 | 8 | 7 | 7 |
| 監　事 | 0 | 0 | 1 |
| 合　計 | 8 | 7 | 8 |

## 4. 女性農業者の農業協同組合役員登用状況（北海道）

北海道には、大小合わせて 108 JA（平成 26 年度末現在）があります。そのうち現状複数の女性役員を登用しているのは 3JA のみです。国や北海道の登用目標では、すべてのＪＡが、2 名以上の女性役員登用を目標にすることとしています。

**次号では、当ＪＡの女性参画への取り組み状況などについてお知らせします。**

## 理事会開催報告

第10回　理事会(定例)　日時:平成平成27年10月26日(月)　午前10:30～　場所:北斗市総合分庁舎

**議 案**
1号　余裕金運用等にかかるリスク管理手続の一部変更について
2号　低温農業倉庫（函館育ちＲＴ付設）の賃貸借契約の締結について
3号　金融機関貸付について
4号　理事への貸付について

## 営農販売経済委員会視察研修

◇参加者：輪島専務、西村常務、田中委員長、平田副委員長、下川部理事、山下理事、時田理事、森理事、浅野理事、髙瀬理事、鈴木理事
◇事務局：二本柳部長、新谷部長、関課長　　◇日　程：9月9日～9月11日

### 長野県　JA佐久浅間・JAあづみ

蔬菜・青果の生産が盛んな２ＪＡで、共選や出荷について視察しました。ＪＡ佐久浅間では今年完成した真空予冷施設を見学し、広域的な流通について意見交換しました。

ＪＡ佐久浅間：長野県における東の玄関口に位置し、白菜、キャベツ、レタスなどが盛んなＪＡで、今年完成した最新の真空予冷施設の運営状況を視察しました。

ＪＡあ づ み：県中部の安曇野市・松本市に位置し、高品質なりんごや米が盛んなＪＡで、農産物集出荷施設の集約状況や大規模なりんご共選施設を視察しました。

### 東京都　三徳 茗荷谷店

スーパーマーケット「三徳」で、当ＪＡ産の農作物で統一した「ＪＡ新はこだて専用棚」を視察しました。ブランドイメージを活かした販売戦略について学びました。

✉ 八雲町　カズPさん
農協トマトカレー食べてみたいです。そして、その味に近いカレーを作ってみたい。
♣トマトのさっぱりとした味わいで、すごくおいしいですよ！

✉ 八雲町　モーモーさん
北斗市に行ってきました。今度ライスターミナルを見学したいと思っています、＼(^_^)／
♣ターミナルには何度も行ってますが、大きさに圧倒されます！

✉ 長万部町　くろベン君さん
りんごうまそー!!若かったら丸かじりしたいな～あの頃の歯がほしい!
♣私は丸かじりすると歯ぐきから血が出ます。皆さん歯は大切に！

# 年末特別プレゼント企画

より良い「えすぽわーる」を作るために、読者のみなさまのご意見を募集します！ぜひ、アンケートにご協力をお願いします。お答えいただいた方の中から、抽選で**18名様**に素敵なプレゼントをお贈りします！

**A賞** はこだて和牛
（5,000円相当1名様）

**B賞** 若松ポークマン
（約1kg・3,500円相当1名様）

## 外れた方にも…Wチャンス

**C賞** 農協ラーメン
（2食入り3袋2名様）

**D賞** 農協トマトカレー
（1食入り3袋2名様）

**E賞** 函館産本格いかめし
（2杯入り3袋2名様）

**F賞** JAオリジナルエコバッグ
（2袋10名様）

※写真はイメージです。※景品の内容は都合により変更になる場合があります。※Wチャンスはお選びできません。

⬇応募用紙はこちら（切り取ってそのままハガキに貼ってください）

**応募締め切り　12月8日（火）（当日必着）**

※以下の回答・必要事項は必ずすべてご記入ください。

<回答>

**1.** 1つに丸を付けてください。
①毎月必ず　②だいたい毎月　③2～3ヶ月に1回　④4～6ヶ月に1回　⑤それ以下

**2.** 1つに丸を付けてください。
①満足　②やや満足　③ふつう　④やや不満　⑤不満
理由：

**3.** ①満足　②やや満足　③ふつう　④やや不満　⑤不満
（1）　（2）　（3）　（4）　（5）

**4.** 3つに丸を付けてください。
①道南を農す　②特集　③協同の力　④新婚さんハッピートーク
⑤トピックス　⑥focus the JOB　⑦あぐりレッスン
⑧みんなのまるめ郎広場　⑨地産地食図鑑　⑩その他（＿＿＿＿）

**5.**

**6.**

ご希望のプレゼント　※下記のいずれか1つに○を付けて下さい
Aはこだて和牛・B若松ポークマン

住所
〒　　－

氏名　　年齢　　TEL
ペンネーム　　才　　－　　－

組合区分　正組合員・准組合員・その他　※○を付けて下さい

回答欄はコチラ

<質問事項>

**1.** あなたは「えすぽわーる」をどれくらいの頻度で読んでいますか？

**2.** あなたは「えすぽわーる」に対して、総合的に5段階でどのくらい満足していますか？
また、その理由はなぜですか？

**3.** あなたは「えすぽわーる」の以下の点について、5段階でどのくらい満足していますか？
それぞれご記入ください。
（1）組合員や組合員組織の活動が十分に紹介されているか。
（2）ＪＡの事業・活動が十分に紹介されているか。
（3）組合員にとって、興味のある・役立つ情報が十分に掲載されているか。
（4）地域住民・消費者にとって、興味のある・役立つ情報が十分に掲載されているか。
（5）わかりやすい内容になっているか。

**4.** あなたのお好きなコーナーを3つお知らせください。

**5.** こんな情報が知りたい、こんなコーナーがあったらいいなというご意見がありましたらお聞かせください

**6.** その他、「えすぽわーる」をはじめ広報活動全般について、ご意見・ご感想がありましたらご自由にお書きください。


あて先　ご応募は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。
〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号 JA新はこだて企画室
E-mailアドレス　shinya.toda@ja-shinhakodate.com　FAX:0138-77-5566


**10月号のこたえ**

さっぽろどーむ

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 い | る | 2 か | ■ | 3 か | ど |
| ろ | ■ | 4 つ | 5 み | れ | ■ |
| 6 は | 7 む | ■ | 8 や | 一 | 9 ど |
| ■ | 10 た | 11 ら | こ | ■ | く |
| 12 か | い | ん | ■ | 13 む | し |
| さ | ■ | 14 ぽ | ん | ち | よ |

**クイズ当選者**
せたな町　りんごさん
北斗市　大地さん
長万部町　くろベンさん

## 読者の声

**江差町　のぶおさん**
寒くなってきたので鍋が食べたくなりますね!あぁ～おでんもイイヨネ♪
♣冷えてきたので、アツアツの物を食べて体を温めたいですね。

**八雲町熊石　康子さん**
北斗市のイベントでトマトカレーを知り、一度是非食べてみたい!
♣あぐりへい屋にはいつでも置いてますので、来てみてください！

**八雲町熊石　幸子さん**
「道南を農す」の中で七飯町りんごの記事は女性の活躍が紹介されたもので、とても感動した。
♣女性でも男性でも、活躍されている方は素晴らしいですね！

**せたな町　りんごさん**
表紙のりんご美味しそうですね。こないだりんごカッターを買いました。2回に1回失敗します(´-`)
♣りんごカッター、初めて知りました。私も使ってみたいです♪

**知内町　ハジメさん**
Focus the JOBのコーナー楽しみにしています。
♣職員の顔と名前を覚えて、お気軽に声を掛けて下さい(^-^)

**北斗市　大地さん**
らーめんが大好きなので農協ラーメン食べてみたいです!
♣大野の大収穫祭では、ホッキの農協らーめんが大人気でした！

**北斗市　おていちゃんさん**
食欲の秋、表紙の真っ赤なリンゴおいしそうですね♡いかめし大好き!!
♣本当に色鮮やかで、とってもおいしそうなりんごでした！

**七飯町　ノンちゃんさん**
りんごの美味しい時期が来ましたネ。りんごを使ったお料理やお菓子作りが楽しみな季節です。
♣我が家では煮りんご作りが恒例。つまみ食いが捗ります……

**七飯町　揚げドーナッツさん**
日本ハムファイターズがCSシリーズ初戦で敗退になりましたが来年は日本一になってほしいです!
♣新戦力も入りましたし、来年も応援していきましょう！

**七飯町　冨美子さん**
新婚さんコーナー大好きです。地産地食も参考にして作っています。
♣ご愛読ありがとうございます。今回のアンケートもぜひ！

**函館市　久子さん**
かぜをひき祝日に本町の病院まで行ってきました。まだ治りません。皆さん気をつけましょう、健康には……
♣皆さんも体を冷やさないようにお気をつけくださいね。

特製のピューレを使い、独特な味を楽しめる「ジャガイモのリヨン風」

# 広げよう！地産地食図鑑

★２０品目★
ジャガイモのリヨン風

## ホクホク食感のこだわりフレンチ

今月ご紹介するのは、七飯産のキタアカリを使ったフランス料理「ジャガイモのリヨン風」です。大中山駅から徒歩６分ほどの場所にある「レストラン　ブランヴェール」代表の田中秀幸シェフにご協力いただきました。

小さめのキタアカリを油で揚げ、ベーコンと玉ネギを炒めたもので和えます。牛乳などを加えた特製のにんにくピューレとコショウで味付けして完成です。

このメニューは、ランチタイムにコースの前菜として提供しています。注文すれば、別の前菜をこちらに変えることもできます。

田中さんは「普段食べている食材を、新しい視点で料理して提供したいと思っています。事前に連絡していただければ、より好みにあったものをお作りします」と話していました。

七飯産の馬鈴薯「キタアカリ」

「地元の食材をよりおいしく調理します」と田中シェフ。

### レストラン ブランヴェール

住所：七飯町大川 6-12-36　TEL：0138-66-3005
営業時間：ランチ 11:00 ～ 14:00 ・ ディナー 18:00 ～ 20:30（要予約）
定休日：月曜日（祝日は営業）・第3火曜日

## 編集後記

今月の「まるめ郎広場」では、特別企画で「えすぽわーる」についてのアンケートを行います！ より良いえすぽわーるを作るために、皆さまのご意見を大募集します。ぜひ、率直なご意見をお寄せください!!

お答えいただいた方には、抽選で「はこだて和牛」と「若松ポークマン」をプレゼントします。抜群のおいしさは、皆さまよくご承知の通りかと思います。値段が高い方が良いなら「はこだて和牛」、ガッツリ量を食べたい方は「若松ポークマン」と、選んでご応募ください。（真）


**えすぽわーる新函館**
第159号　平成27年11月10日発行
発　行／新函館農業協同組合
住　所／〒041-1201　北斗市本町1丁目1番21号（北斗市総合分庁舎隣）
電　話／0138−77−5555（代表）
ＦＡＸ／0138−77−5566
編　集／企画室
印　刷／有限会社　三和印刷


**JA新はこだて facebook**
ＪＡ新はこだてホームページからもご覧いただけます。
こちらも、よろしくお願いします。

## まるめ郎アルバム

知内の重内神社に寄ってみたよ。
階段じゃなくても車で上までいけるらしいけど、どうする？（笑）
ボクは痩せると困るから誰か乗せて！

「えすぽわーる」とはフランス語で「希望」という意味。「えすぽわーる新函館が読者の皆さんに希望を届ける広報誌になって欲しい」という願いが込められています。